



みんなでお歌おう!

秋の空に椿の花が咲き始め 花言葉は「控えめな優しさ」



結婚生活パート2

私は何のため東京に出てきたのか？京都の仏教青年会で自分自身に与えた問題、般若心経の「色即空 空即是色 色不異空 空不異色」とは？を解

しよう」と二人は日帰りです。小田原に行くことにしました。そして、次の日曜日に小田原に出かけました。小田原に着いてすぐ山崎君を招いた人と会い、キャバレーの経営者ですが、お店に案内されました。

るのでそこに勤めたら、その人が勧めてくれました。こちらとしては全く知らない土地です。その人の言う通りにそのママに会うことにしました。山崎君は大体挑戦するつもりだそう。10日後に引越しし、勤めることにしたようです。

さん良いじゃないの」と言っていました。私もまだパーテンドーとして1年足らずで未熟者ですが、銀座と違っておつまみも乾き物が多くそんなに凝ったものは出さないそう。フルーツの盛り合わせぐらいで、それなら私にも出来ると思いい、その場で快諾しました。

いよいよ引越しの日が来ました。二人共荷物らしきものも有りませんので、山崎君の運転でレンタカーを借り3人で小田原に向かいました。今まで勤めていたお店のママにはよくお礼を言って事情を話し理解して頂き、お小遣いまで頂きました。退職金代わりに言われ恐縮して頂き、1年間で難うございました。とよくお礼を言ってお世話になりました。

明するという意思を持って実生活の中で解き明かそうと出てきたのではないか。それもままならず、恋だ愛だ結婚だと浮かれた生活をしている自分にはっ！と気付かされ、元の自分に立ち戻った時、洋子の病気が自分に対する試練だと感じました。まずは目の前の事を解決できないで何が仏教だ、何が般若心経だと深く反省していました。

店では小田原の駅前にある、小田原では一番大きなキャバレーだと紹介されました。東京のキャバレー程ではありませんが、ホステスが70人程居るそうです。そこで山崎君にマネージャーをしようといふこと、ホステスさんとキッチンの方をマネージメントしなければなりません。「何時からお世話になればいいのですか？」と山崎君が聞いていました。すぐにだそう。す

「では籠谷さんの勤めるパーのママに会いに行きましようか？」とその人が言ってくれてタクシード小田原の中心街のそのパーに行きました。ママが待っていてくれて面接をしました。とてもきれいな人で歳は30代半ばと思えますが、店の中を案内され、オープンが10日後だそう。それに間に合うように来てほしいと言われ、面接は合格したようです。

お店は新築です。きれいでホステスは10人を予定しているとのこと、パーとしては大きな方です。山崎くんも見て「籠

DKの風呂、トイレ、台所付きの二人が住むには十分な家でした。窓を開けると富士山が見え、手の届く所にイチゴ畑があり、美味しそうなイチゴがなっている、素敵な家でした。

「山崎君、一度小田原に行ってみようか、どんなところか見てきて決めよう」

私のことは近くにパーテナダーを募集してい

すね。山崎くんも見て「籠

すね。山崎くんも見て「籠

すね。山崎くんも見て「籠

家賃が3,000円、東京では考えられない安さです。いよいよスタートです。小田原はどんな人があるのやら、どんな土地柄なのか、楽しみです。空気もきれいですし、洋子には静養するにはもってこいの土地だと感じました。私は次に来る大変な経験に一向に気がついていませんでした。……

籠谷 弘25歳の初夏です。

歌声喫茶に参加して！

誰も信じられないとおもいます。

私、三年間プロの歌手に歌を習っていた事があります。選曲は全て先生任せ、譜面とテープをいただき、ピアノ伴奏で気持ちよく歌っていました。が、その教室も大阪へ。自然とやめてしまいました。

あれから数年、今は声もでない情けない状態です。継続は力なり、何事も続ける事が大切だといま痛切に感じています。

東 和子

めぐる季節

めぐる季節に思うのは
いつもあなたのあの笑顔
胸に灯る思い出を
抱いて眺める水面から
瀬音に浮かぶ面影を
今も探して歩きます

深い緑を揺らすほど
響く真夏の蝉の声
あなたに会いたいこの気持
分ち合うよに共に泣く
声もとどかぬ虚しさに
今も涙が流れます

山は黄色の秋もよう
胸の涙のため息も
笑う目じりにきざみこみ
色も形もあせたけど
あなた恋しい心の花は
今も枯れずに咲いてます

夫婦道逝くも残るも辛きかな
早い者勝ちだと笑い夫は逝く
主人が亡くなって一年が過ぎました。

奥村文代



歌声喫茶 12月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

12月10日、24日

「洛西」(第1、3木曜日)

12月 3日、17日

楽々亭 第5回 11月の予定

11月27日(金)

西京区役所洛西支所会議室

1時30分~3時30分



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。